

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和元年10月25日（金）10時35分～11時25分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、松井安全審査官、山中係員、田上係員

検査グループ 専門検査部門

山中原子力専門検査官

福島第一原子力規制事務所

實松上席放射線防災専門官、坂中原子力防災専門官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクト計画部 担当2名 福島第一原子力発電所 担当4名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 多核種除去設備（以下「ALPS」という。）の至近の稼働状況について
 - ✓ 本年10月14日にALPS（共通系）出口移送配管の枝管のフランジ溶接部から漏えいが発生。当該フランジ上流側配管を切断後、新規配管を溶接して復旧し、10月23日に運転再開。漏えい発生原因の調査を今後実施予定。
 - ✓ 本年8月8日にALPS（A系）出口フィルタにおいて差圧上昇を確認。差圧の原因が鉄さびによるものと判断し、出口フィルタの径を2μmから20μmに変更して9月10日に運転再開。その後、差圧上昇等は確認されていない。
 - ✓ 本年9月2日に増設ALPS（A系）において新規吸着材の実機性能試験のため新規吸着材を充填して運転中に、系統内において吸着材からの発泡を確認。10月24日に系統内からの発泡成分の除去が完了し、運転再開。
 - ✓ 本年7月2日にALPS（B系）循環ポンプケーシング部にピンホールを確認。ケーシングの製作に長期間を要するため、現在、当該系統は処理運転を停止しており、本年12月頃にケーシングの交換を実施予定。併せて、ケーシング外側からの応急処置としての補修も検討中。
 - 本年10月24日に発生した増設ALPS用塩酸の漏えい事象について
 - 本年10月23日に発生した警報付きポケット線量計（APD）・ガラスバッジ不携帯事象に係る概要、時系列及び被ばく状況等について
 - 本年10月11日に発生したサイトバンカ建屋（SARRY II）での黄靴履き替え時の足裏汚染事象に係る状況について
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、
 - ALPS（共通系）出口移送配管フランジ溶接部からの漏えい事象について、発生原因の調査結果がまとめ次第、説明すること
 - 最近頻発している放射線管理に係るトラブルについて、再発防止策がまとめ次第、説明すること等を求めた。

6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況, 運転計画 (2019年10月18日~2019年10月31日)
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について (2019年10月18日~2019年10月24日)
- 多核種除去設備の至近の稼働状況
- 増設多核種除去設備用塩酸の漏えい事象について
- 福島第一原子力発電所 元請企業職員における作業後のAPD・ガラスバッジ不携帯について
- サリー2黄靴履き替え時の足裏汚染について